

XLD (X Lossless Decoder) CD リッピングマニュアル

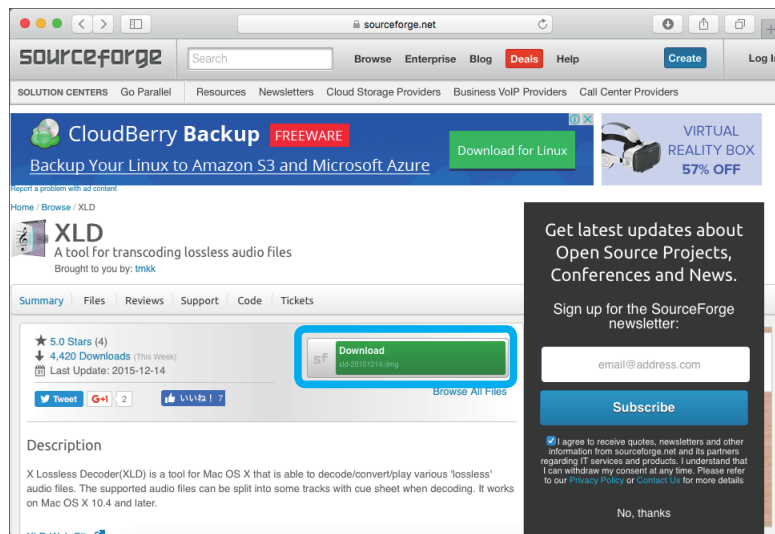
本紙は Mac OS X 対応のフリーソフト XLD (X Lossless Decoder) の導入ならびにオーディオ CD のリッピング方法を説明したマニュアルです。本紙を参考にオーディオ CD の高音質リッピングをお楽しみください。

1 XLD をダウンロード / インストールする

【以下の画面は Mac OS X10.11 です。】

1. インターネットにパソコンを接続し、XLD をダウンロードします。

XLD のダウンロードはこちら ⇒ <https://sourceforge.net/projects/xld/>



2. ダウンロードしたファイル (xld_20151214.dmg) を展開し、“XLD” をクリックします。
※バージョンアップにより下線部の表記は更新されます。



このとき、XLD がインストールできない場合は、【システム環境設定】⇒【セキュリティとプライバシー】の“ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:”を一時的に「すべてのアプリケーションを許可」に印を入れ、XLD をインストールします。

※ダウンロード終了後は、元の設定に再度設定し直してください。

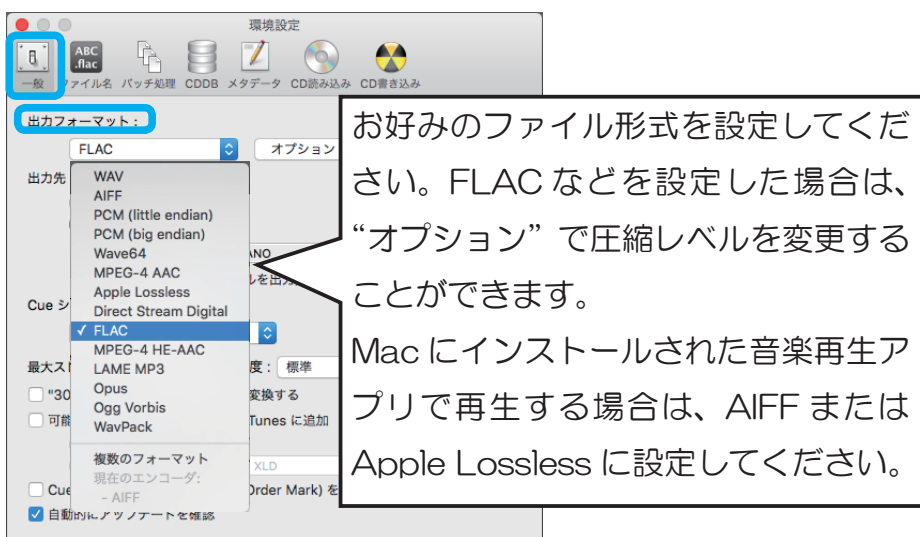
2 XLD の設定をおこなう

1. 【XLD】 ⇒ “環境設定” をクリックします。



2. 保存する音楽ファイルのフォーマット設定をおこないます。

【一般】タブの“出力フォーマット：”をお好みに設定してください。



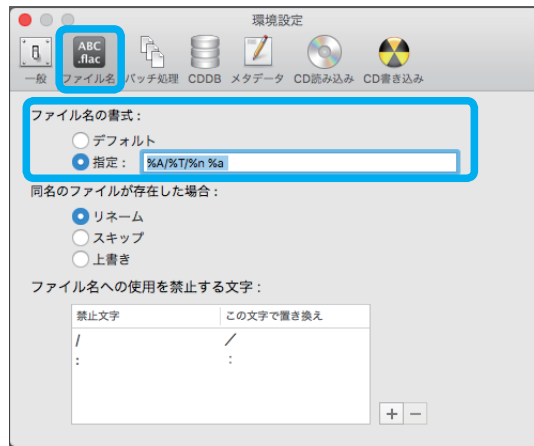
3. 音楽ファイルを保存する場所を設定します。※初期設定ではデスクトップ上に保存されます。

【一般】タブの“出力先：”の“指定”に印を入れ、お好みのフォルダに設定してください。



4. 音楽ファイルを、どのように保存するかを設定します。

【ファイル名】タブの“ファイル名の書式：”で保存方法を設定します。



👍 リッピングのヒント その1

“ファイル名の書式：”の初期設定は以下の通りです。

{%n %a -%t}

このままの設定でリッピングした場合、ファイルは右記のように作成されます。

ジャンル : JAZZ

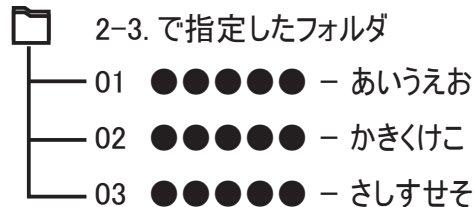
アーティスト名 : ●●●●●●

アルバム名 : △△△△△

曲名① : あいうえお

曲名② : かきくけこ

曲名③ : さしすせそ



この設定で指定できる項目は以下の通りです。

% n : トラック番号

% D : ディスク番号

% t : 曲名

% a : アーティスト名

% T : アルバム名

% A : アルバムアーティスト名

% c : 作曲者

% y : 年

% g : ジャンル

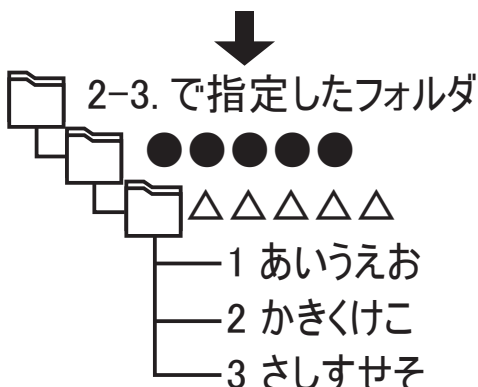
% f : フォーマット

% i : ISRC

% m : MDN

% I : DiscID

具体例) 下記のファイル構成で音楽ファイルを保存する場合、“ファイル名の書式：”には“%A/%T/%n %t”と入力します。



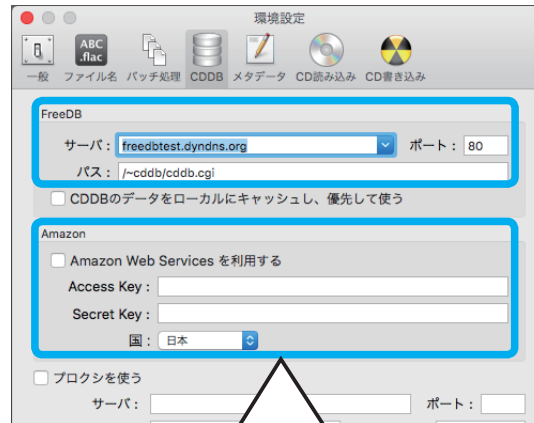
「/」(スラッシュ)を入力することでフォルダ(階層)が作成されます。音楽データの項目間にはスペースまたはハイフンを入力してください。

ファイル名の書式：

デフォルト

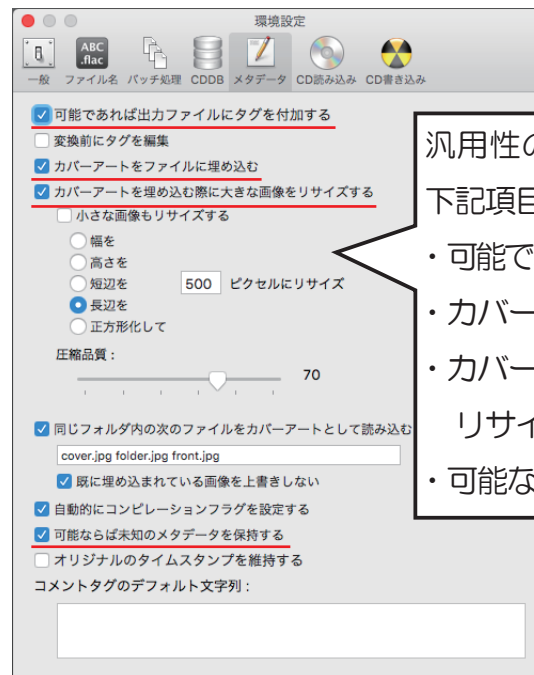
指定： %A/%T/%n %t

5. 曲名とカバーアートの設定をおこないます。【CDDDB】タブのFreeDBで曲名を参照するサーバーを確認します。Amazonのログイン登録がある場合は、Amazon項目を入力してください。



ここに Amazon Web Services の AccessKey と SecretKey を入力してください。

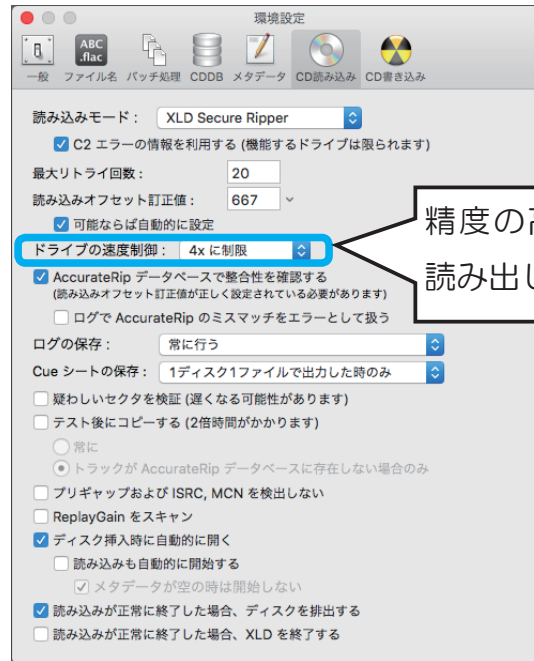
6. メタデータの設定をおこないます。【メタデータ】タブの項目をお好みに合わせて設定してください。



汎用性の高い音楽データを作成するため、下記項目にチェックを入れてください。

- 可能であれば出力ファイルにタグを付加する
- カバーアートをファイルに埋め込む
- カバーアートを埋め込む際に大きな画像をリサイズする
- 可能ならば未知のメタデータを保持する

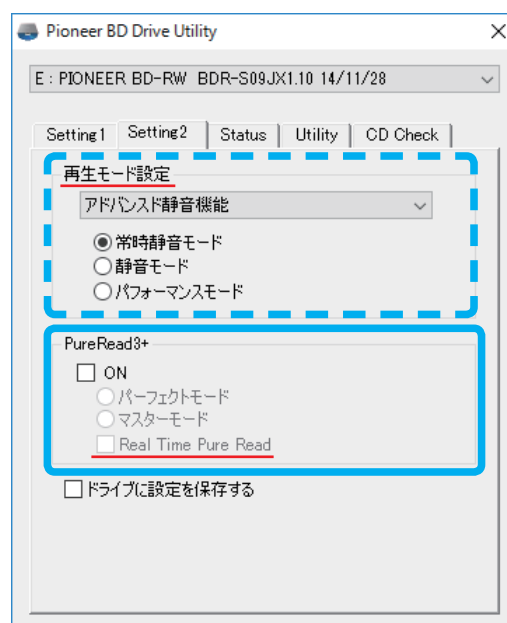
7. CD 読み込みの設定をおこないます。【CD 読み込み】タブの下記項目をお好みに合わせて設定してください。



👍 リッピングのヒント その2

Pioneer 製 BDR-S09J-X をご利用の場合、【Pioneer BD Driver Utility】は Mac OS X 環境ではご利用いただけませんが、同 Utility をインストールした Windows PC では光学ドライブの設定が可能です。
※設定は BDR-S09J-X に保存されます。

“Pure Read3+” の設定変更による音質差をご確認ください。また、音楽 CD 再生時は“再生モード設定”と“Real Time Pure Read” の設定を変更して音質差をご確認ください。





リップニングのヒント その3

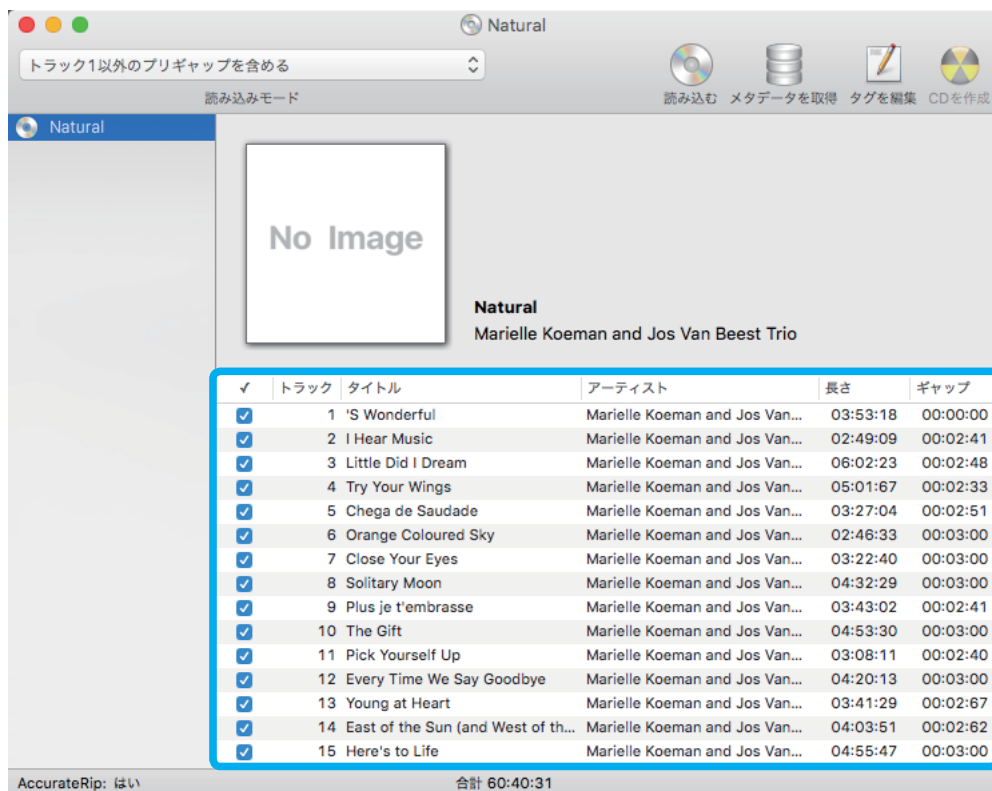
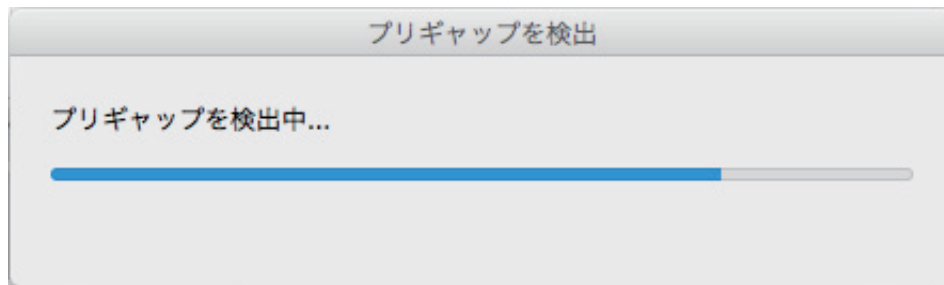
2 ページ 2-2. で保存する音楽ファイルのフォーマットを非圧縮フォーマット（WAV など）にした場合、再生する環境によってテキストデータが正しく表示できない場合があります。保存した音源をネットワークオーディオなどで運用する場合は、メタデータの互換性が高い可逆圧縮のFLACフォーマットをおすすめします。

※非圧縮フォーマットでもテキストデータ / カバーアートが正しく表示される場合もあります。

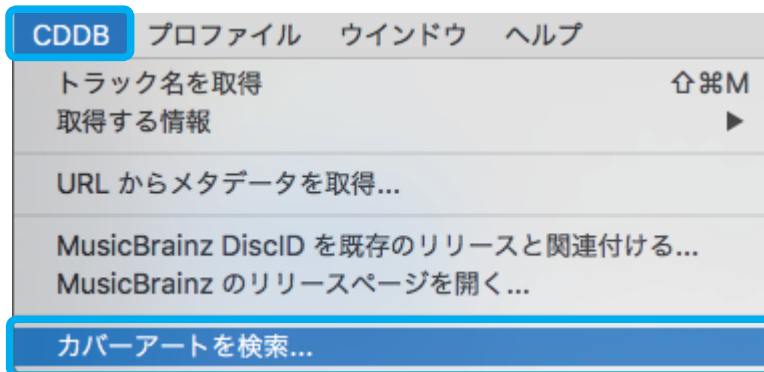
※使用する環境下の機器（ネットワークオーディオプレーヤー / NAS / 再生アプリケーションなど）が 2-2. で設定した“出力フォーマット”に対応しているかご確認ください。

3 リッピングを開始する

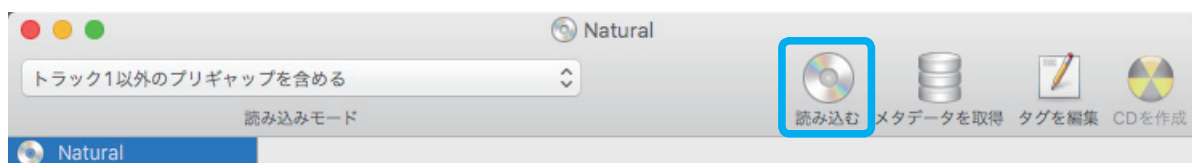
1. 光学ドライブに音楽 CD を挿入し、リップニングを開始します。XLD をクリックし、2-5. で指定したデータバンクから音楽 CD 情報が表示されたことを確認します。



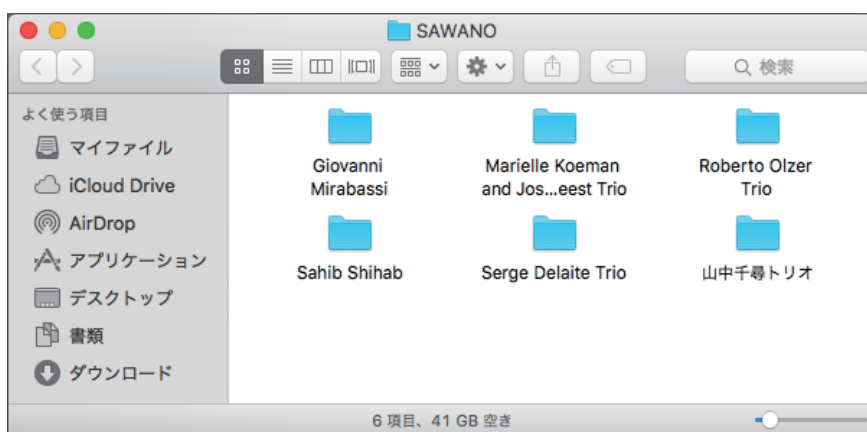
2. 4ページ2-5.でAmazonの項目を入力した場合は“Cddb”をクリックしカバーアートを取得します。



3. “読み込む” をクリックしリッピングを開始します。



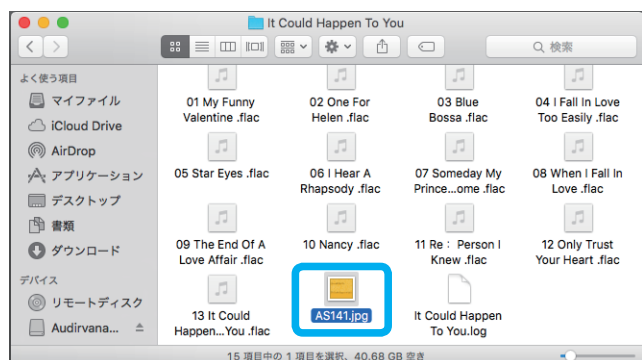
4. リッピング終了後、2-3.で指定したフォルダに音楽データが保存されていることを確認します。



以上でリッピング完了です。

👉 リッピングのヒント その4

光学ドライブに挿入したCDのカバーアートがAmazonに登録されていない場合、またAmazon会員登録情報を入力していない場合でも、お好みの画像データ (.jpg など) をリッピングした音源と同一フォルダ内に保存すると、カバーアートを音楽再生ソフトで表示することができます。



Audirvana Plus で再生した場合

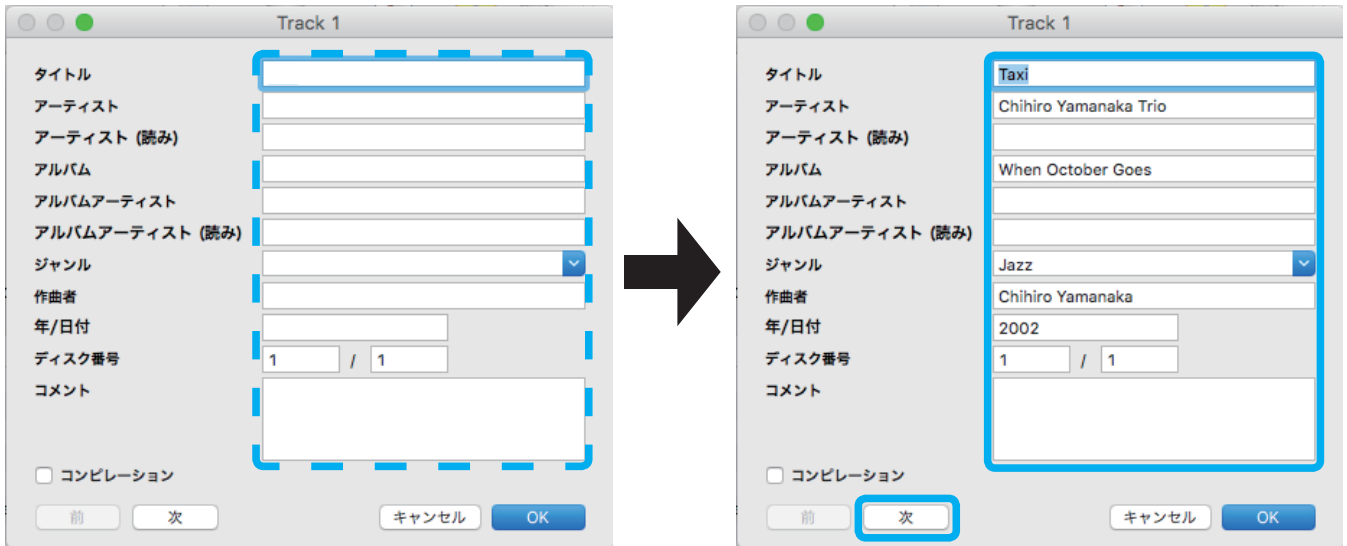


※音楽再生ソフトにより、参照する画像の拡張子は異なります。

4 ディスク情報が表示されない場合

光学ドライブに挿入した CD がデータバンクに登録されていない場合、下記の手順でリッピング前に編集すると、テキストを音源データに反映することができます。

1. 光学ドライブに CD を入れてもディスク情報が表示されない場合、【タグを編集】をクリックします。
2. 【CD の情報】が表示されます。アルバム名など、各項目を入力し、“次” をクリックし、アルバム内の曲に項目を記入します。



3. アルバム内のリッピングする曲の全てに記入が終わったら、“OK” をクリックして、リッピングを開始します。



その他の内容については、下記 URL をご参照ください。

X Lossless Decoder: Lossless audio decoder for Mac OS X

<http://tmkk.undo.jp/xld/>

The Days of My Life Mac 用デコーダーアプリ XLD のインストールと設定

<http://gateway254.com/digital01/?p=1895>